

伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターニュース

平成 22 年 6 月号



伊豆沼・内沼は今年、ラムサール条約登録 25 周年を迎え、宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターも 20 周年を迎えます。地域の皆さんに、沼での活動状況を知って頂きたい、ニュースを発行します。これからどうぞよろしくお願い申し上げます。

6 月の活動予定と主な活動場所



沼岸の植生の復元活動 (マコモ植栽)



育てたマコモを持つ畑岡小 4 年生

環境悪化などでなくなった植物を復元するため、以前その群落のあった場所に植えています。

オオクチバス駆除活動



沼の魚類やエビ類を食べるオオクチバスを駆除しています。最近、バスが減少し、沼の小魚やエビが増えました。

お知らせ

① 自然体験講座

開催日 : 6 月 20 日 10 : 00-15 : 00
場所 : 宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター (若柳)

竹とんぼ教室 (午前) ハス紙すき体験 (午後
参加費 600 円
申し込み〆切 : 6 月 17 日

紙すき体験の様子 (昨年)



② 環境省アクティブレンジャー写真展

開催日 : 6月4日～24日

場所 : 宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター (若柳)

各地の国立公園などで活躍する環境省の自然保護官 (アクティブレンジャー) が撮影した、豊かな自然を紹介する写真展です。



伊豆沼・内沼の生き物一口メモ

6月の沼では、しっとりとした空気に似合うアヤメの仲間の花が咲きます。少し開けた草地の中で咲いていますので、草むらをそっとのぞいてみて下さい。



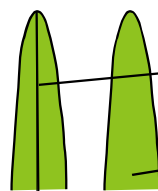
カキツバタ : *Iris laevigata*

湿地に生えるアヤメ科の植物です。花は5—6月に咲きます。全国的に姿を消していき、環境省のレッドデータブックで、絶滅危惧種の一つに指定されている希少な植物です。

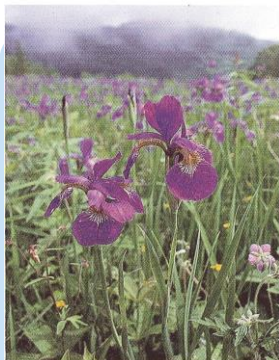


ノハナショウブ : *Iris ensata* var. *spontanea*

園芸植物のショウブ (菖蒲) は、この種を改良して作られました。カキツバタよりも土が乾いた場所に生えています。



見分け方 : 葉の形で見分けます。ノハナショウブには、葉の中央に太めの軸があります。カキツバタの軸はほとんど目立ちません。



アヤメ

カキツバタの仲間にあやめという種があります。伊豆沼では見られませんが、一迫の山王史跡公園あやめ園で見ることができます。

日本野生植物館 (小学館) より転載

お問い合わせ

(財) 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団
Tel : 0228-33-2216 Fax : 0228-33-2217
e-mail: izunuma@circus.ocn.ne.jp
〒989-5501
宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味 17-2